

第2節 「ADL・生活の質」の追跡調査

1. 対象

前章に述べた生死の追跡調査で「在籍（1990年調査時と同一の住所に居住している）」が明らかになった対象者のうち、2000年8月1日現在満65歳以上の全員を「ADL・生活の質」調査の対象とした。

2. 方法

「ADL・生活の質」調査は2000年11月1日に全国227カ所の該当保健所ならびに保健センターに対して、調査協力の依頼文を発送し調査を開始した。調査票の送付は、承諾を取れた保健所に対して、同年11月20日から順次実施していった。調査開始までの経過、保健所とのやり取りは、チャート（図1）にして表わした。

2-1 全国保健所長会からの調査協力依頼

全国保健所長会で「ADL・生活の質」調査主旨の理解を得、会の席上で、班長から説明し所長会として同意を得、さらに全国保健所長会長名で、各保健所長宛に、調査協力の依頼文を出して頂いた（資料3-1）。

2-2 ADL・生活の質調査の概略と調査依頼

別紙に示すような、調査依頼文（資料3-2）、調査の概略（資料3-3）、各保健所の対象人数、対象地区、調査票のサンプル（資料3-5）を作成し、追跡調査の意義を記した「厚生指標」を同封して該当保健所に対して調査依頼を行った。調査実施の意向を調査協力の意向をはがき（資料3-4）で問い合わせた。

調査の依頼は、2000年11月1日から始めた。昨年に引き続きの調査研究であったためか、保健所からのおしかりのお電話はもらわなかった。だが、当初、保健所の承諾率は必ずしも高いとはいえず、未返事の保健所に対して、各班員を地区ごとに分け、班員からも各保健所に、調査の意義と主旨を説明し、調査協力を要請した。調査方法も、当初は保健所員の訪問面接調査で実施する予定だったが、最終的には、訪問調査を原則とするが、電話による調査、郵送調査も可として柔軟性を持たせた。返答のない保健所に対しては、再度、調査協力の依頼を事務局から発送した（資料3-6）。その結果、最終的に227保健所中、206保健所から調査協力の返事を得た（資料3-11）。

2-3 調査マニュアル

調査を協力する保健所に対して、調査実施のお願い（資料3-7）、調査マニュアルを送付（資料3-8）し、このマニュアルに沿って調査を進め、データの質の統一化をはかった。また、対象者に対して、「みなさまへ」（資料3-9）という調査依頼文を班長名と各保健所長名で出し、対象者に対する調査協力の依頼を行った。

調査終了後、調査票を返送して下さった保健所に対して、調査票の枚数確認と協力のお礼を含めて、調査票受領書（資料3-10）を各保健所に郵送した。

3. 結果

現在も調査は進行中であるが、2001年2月10日現在の進行状況について報告する。

未返事保健所表3-1に、性、年齢階級別にみた「ADL・生活の質」調査の回収率を表わした。10年の追跡を行った結果、男性1,034人、女性1,471人が「ADL・生活の質」調査の対象者であり、このうち男性878名（84.9%）、女性1,244名（84.6%）から回収できた。年齢階級別には、男性では75～79歳群が最も高く、女性では85歳以上群で高かった。

表3-2に、地区毎にみた「ADL・生活の質調査」の対象者と回収率を示した。東京都地区の回収率は、男性66.7%、女性67.4%と低く、次いで中国四国地区の回収率は男性83.3%、女性84.8%であった。回収率の高い地区は中部地区で、男女とも92.3%であった。

表3-3に性、年齢階級別にみた調査の可、拒否、不明の状況を表した。男性83.9%、女性82.0%が調査に協力した。年齢階級別には80歳までは80%以上が調査できたが、85歳以上では、男女とも70%前後と低かった。調査拒否は全体で男性3.2%、女性は3%であった。

表3-4に調査形態を性、年齢階級別にみた。訪問による調査は男女とも約75%行われ、電話による調査は約10%であった。年齢が上がるに従って、訪問調査の割合が減少し、電話による調査、訪問・電話以外の方法による調査が多くなっていた。

表3-5に家族形態の分布を表した。男性全体では高齢者夫婦の世帯が高く、ついで三世代同居であった。女性は三世代同居が高く、次に二世帯同居であった。年齢階級別には、男性は65～69歳群では高齢者夫婦世帯が多いが、高齢になるに従って三世代同居が高くなっていた。女性では65～69歳群では高齢者夫婦世帯が34%と多いが、75歳以上では15%以下に半減し、三世代同居が高くなっていた。85歳以上では、男性の高齢者夫婦世帯は25%であったが、女性は4%

と低い値を示した。この割合の差は、男性と女性の平均寿命に違いがあることと、男性の方が年上の夫婦が多いためと考えられる。

表3-6から表3-11まで、高齢者の日常生活動作能力(ADL)の状況を性、年齢階級別に表わした。どのADL項目においても、年齢が上がるに従って自立の割合が低くなり、半介助、全介助の割合が高くなっていった。特に屋外歩行では、年齢による差が大きかった。

表3-12に、東京都老人総合研究所活動能力指標(都老研)の状況を表わした。質問の13項目について各項目が出来るかどうかを二者選択で回答した。年齢が上がるに従って、「はい」と回答した者の割合は低くなっていった。特に、「貯金の出し入れができるか」、「年金等の書類が書けるか」、「家族や友人の相談にのるか」、「病人を見舞うか」という項目で、年齢による差が大きかった。表3-13に、都老研指標から13点を満点とした時の、性、年齢階級別にみた平均値を示した。男女とも年齢とともに点数は低くなっていった。特に85歳以上では65から69歳群の半分の点数になっていた。年齢とともに活動指標が低下しているのが分かった。

表3-14に調査時における、満足感の状況を示した。満足、まあ満足と感じているものは、男女とも約80%であり、年齢による差は見られなかった。表3-15に調査時における、幸福感の状況を示した。65歳から84歳群では男女とも約80%が幸福と感じていたが、85歳以上では60%しか幸福と感じていなかった。表3-16に生きがいについての状況を示した。男女とも年齢とともに生きがいを感じている者の割合は低くなっていった。全体では、生きがいがある、時々感じると回答した者は、80%いた。

表3-17に脳卒中、心筋梗塞、大腿部頸部骨折、その他の下肢骨折の既往者の割合を示した。男性の脳卒中既往者の割合が、74歳群までは6%であったが、75歳以上で13%以上に高くなっていった。女性の脳卒中既往者の割合は、年齢とともに高くなっていったが、男性ほどではなかった。心筋梗塞の既往者の割合は男女とも3%~5%であった。大腿部頸部骨折は女性の85歳以上で10%と急に高くなっていった。その他の下肢骨折は男女とも6%~8%であった。

表3-1 性年齢階級別にみた「ADL・生活の質」調査の回収率(2001年1月30日現在)

		65-69歳群	70-74歳群	75-79歳群	80-84歳群	85歳以上	合計
男性	在籍者	336	293	215	122	68	1034
	調査回収者	264	242	201	109	62	878
	回収率(%)	78.6	82.6	93.5	89.3	91.2	84.9
女性	在籍者	417	392	308	197	157	1471
	調査回収者	327	341	259	176	141	1244
	回収率(%)	78.4	87.0	84.1	89.3	89.8	84.6

年齢は、2000年時の年齢

表3-2-1 地区別、性年齢階級別にみた「ADL・生活の質」調査の回収率(2001年1月30日現在)
;北海道地区

		65-69歳群	70-74歳群	75-79歳群	80-84歳群	85歳以上	合計
男性	在籍者	15	13	6	9	1	44
	調査回収者	14	10	7	9	0	40
	回収率(%)	93.3	76.9	116.7	100.0	0.0	90.9
女性	在籍者	22	19	18	7	1	67
	調査回収者	17	16	17	5	1	56
	回収率(%)	77.3	84.2	94.4	71.4	100.0	83.6

年齢は、2000年時の年齢

表3-2-2 地区別、性年齢階級別にみた「ADL・生活の質」調査の回収率(2001年1月30日現在)
;東北地区

		65-69歳群	70-74歳群	75-79歳群	80-84歳群	85歳以上	合計
男性	在籍者	37	27	17	14	8	103
	調査回収者	29	21	18	12	7	87
	回収率(%)	78.4	77.8	105.9	85.7	87.5	84.5
女性	在籍者	33	36	32	16	14	131
	調査回収者	26	30	24	19	12	111
	回収率(%)	78.8	83.3	75.0	118.8	85.7	84.7

年齢は、2000年時の年齢

表3-2-3 地区別、性年齢階級別にみた「ADL・生活の質」調査の回収率(2001年1月30日現在)
;関東地区(東京都除く)

		65-69歳群	70-74歳群	75-79歳群	80-84歳群	85歳以上	合計
男性	在籍者	47	55	28	26	14	170
	調査回収者	33	42	25	21	13	134
	回収率(%)	70.2	76.4	89.3	80.8	92.9	78.8
女性	在籍者	78	62	50	33	29	252
	調査回収者	55	51	38	29	18	191
	回収率(%)	70.5	82.3	76.0	87.9	62.1	75.8

年齢は、2000年時の年齢

表3-2-4 地区別、性年齢階級別にみた「ADL・生活の質」調査の回収率(2001年1月30日現在)
;東京都

		65-69歳群	70-74歳群	75-79歳群	80-84歳群	85歳以上	合計
男性	在籍者	25	15	17	9	6	72
	調査回収者	14	11	13	6	4	48
	回収率(%)	56.0	73.3	76.5	66.7	66.7	66.7
女性	在籍者	22	21	25	17	10	95
	調査回収者	12	17	19	8	8	64
	回収率(%)	54.5	81.0	76.0	47.1	80.0	67.4

年齢は、2000年時の年齢

表3-2-5 地区別、性年齢階級別にみた「ADL・生活の質」調査の回収率(2001年1月30日現在)
:中部地区

		65-69歳群	70-74歳群	75-79歳群	80-84歳群	85歳以上	合計
男性	在籍者	74	57	45	23	9	208
	調査回収者	62	54	42	24	10	192
	回収率(%)	83.8	94.7	93.3	104.3	111.1	92.3
女性	在籍者	90	80	57	32	28	287
	調査回収者	75	77	53	29	31	265
	回収率(%)	83.3	96.3	93.0	90.6	110.7	92.3

年齢は、2000年時の年齢

表3-2-6 地区別、性年齢階級別にみた「ADL・生活の質」調査の回収率(2001年1月30日現在)
:近畿地区

		65-69歳群	70-74歳群	75-79歳群	80-84歳群	85歳以上	合計
男性	在籍者	51	40	32	15	13	151
	調査回収者	42	31	31	15	11	130
	回収率(%)	82.4	77.5	96.9	100.0	84.6	86.1
女性	在籍者	58	73	46	31	27	235
	調査回収者	47	61	38	29	28	203
	回収率(%)	81.0	83.6	82.6	93.5	103.7	86.4

年齢は、2000年時の年齢

表3-2-7 地区別、性年齢階級別にみた「ADL・生活の質」調査の回収率(2001年1月30日現在)
:中国四国地区

		65-69歳群	70-74歳群	75-79歳群	80-84歳群	85歳以上	合計
男性	在籍者	40	37	39	16	6	138
	調査回収者	33	28	34	12	8	115
	回収率(%)	82.5	75.7	87.2	75.0	133.3	83.3
女性	在籍者	52	53	40	27	25	197
	調査回収者	41	43	34	26	23	167
	回収率(%)	78.8	81.1	85.0	96.3	92.0	84.8

年齢は、2000年時の年齢

表3-2-8 地区別、性年齢階級別にみた「ADL・生活の質」調査の回収率(2001年1月30日現在)
:九州沖縄地区

		65-69歳群	70-74歳群	75-79歳群	80-84歳群	85歳以上	合計
男性	在籍者	47	49	31	10	11	148
	調査回収者	37	45	31	10	9	132
	回収率(%)	78.7	91.8	100.0	100.0	81.8	89.2
女性	在籍者	62	48	40	34	23	207
	調査回収者	54	46	36	31	20	187
	回収率(%)	87.1	95.8	90.0	91.2	87.0	90.3

年齢は、2000年時の年齢

表3-3 性、年齢階級別にみた「ADL・生活の質」調査の状況

							(%)
		65-69歳群	70-74歳群	75-79歳群	80-84歳群	85歳以上	合計
男性	調査可	91.9	96.2	93.9	88.0	86.7	92.7
	拒否	3.1	1.3	3.6	5.6	5.0	3.1
	不明	5.0	2.5	2.6	6.5	8.3	4.2
	計	260	237	196	108	60	861
女性	調査可	92.9	93.8	92.9	93.1	85.6	92.3
	拒否	3.4	1.8	3.1	2.3	1.4	2.5
	不明	3.7	4.5	3.9	4.6	12.9	5.1
	計	325	336	255	173	139	1228

表3-4 性、年齢階級別にみた「ADL・生活の質」調査の状況

							(%)
		65-69歳群	70-74歳群	75-79歳群	80-84歳群	85歳以上	合計
男性	訪問調査	79.5	77.1	82.3	81.8	83.3	80.0
	電話調査	10.8	14.1	9.9	10.1	13.0	11.6
	その他	9.6	8.8	7.8	8.1	3.7	8.4
	不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	249	227	192	99	54	821
女性	訪問調査	80.5	83.2	80.1	80.7	77.2	80.9
	電話調査	12.0	10.4	10.0	10.8	17.1	11.5
	その他	7.5	6.4	10.0	8.4	5.7	7.6
	不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	308	328	241	166	123	1166

表3-5 性、年齢階級別にみた家族形態の状況

							(%)
		65-69歳群	70-74歳群	75-79歳群	80-84歳群	85歳以上	合計
男性	独居	2.5	4.8	4.8	7.1	1.9	4.2
	高齢者夫婦	46.9	48.7	45.5	33.7	25.0	44.1
	二世帯同居	26.7	18.9	20.3	32.7	34.6	24.3
	三世帯同居	17.3	25.0	28.3	26.5	28.8	23.9
	その他	6.6	2.6	1.1	0.0	9.6	3.6
	不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	243	228	187	98	52	808
女性	独居	12.2	14.6	19.2	18.9	17.1	15.8
	高齢者夫婦	39.3	32.4	18.8	9.1	5.7	25.2
	二世帯同居	22.1	23.1	31.8	32.9	35.0	27.3
	三世帯同居	22.8	24.6	27.2	32.3	30.9	26.4
	その他	3.6	5.3	2.9	6.7	11.4	5.2
	不明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	303	321	239	164	123	1150

		自立	半介助	全介助	合計
男性	65-69歳群	99.6	0.4	0.0	242
	70-74歳群	96.5	2.2	1.3	228
	75-79歳群	98.9	0.0	1.1	186
	80-84歳群	93.7	4.2	2.1	95
	85歳以上	94.2	1.9	3.8	52
	合計	97.5	1.4	1.1	803
女性	65-69歳群	99.7	0.3	0.0	302
	70-74歳群	99.4	0.0	0.6	320
	75-79歳群	97.1	1.3	1.7	240
	80-84歳群	95.7	3.1	1.2	163
	85歳以上	91.6	3.4	5.0	119
	合計	97.6	1.1	1.2	1144

		自立	半介助	全介助	合計
男性	65-69歳群	98.8	0.0	1.2	242
	70-74歳群	96.9	1.3	1.8	228
	75-79歳群	97.8	0.5	1.6	186
	80-84歳群	91.6	4.2	4.2	95
	85歳以上	92.3	0.0	7.7	52
	合計	96.8	1.0	2.2	803
女性	65-69歳群	99.3	0.7	0.0	302
	70-74歳群	98.4	0.0	1.6	320
	75-79歳群	96.7	0.8	2.5	240
	80-84歳群	96.9	1.2	1.8	163
	85歳以上	84.9	5.0	10.1	119
	合計	96.7	1.0	2.3	1144

		自立	半介助	全介助	合計
男性	65-69歳群	97.9	1.2	0.8	242
	70-74歳群	94.7	3.1	2.2	228
	75-79歳群	95.7	2.7	1.6	186
	80-84歳群	92.6	5.3	2.1	95
	85歳以上	86.5	7.7	5.8	52
	合計	95.1	3.0	1.9	803
女性	65-69歳群	99.3	0.7	0.0	302
	70-74歳群	98.1	0.6	1.3	319
	75-79歳群	95.0	2.5	2.5	240
	80-84歳群	94.5	4.3	1.2	163
	85歳以上	82.4	7.6	10.1	119
	合計	95.6	2.3	2.1	1143

表3-9 性、年齢階級別にみたADLの状況(入浴) (%)

		自立	半介助	全介助	合計
男性	65-69歳群	97.9	0.8	1.2	242
	70-74歳群	93.0	4.4	2.6	228
	75-79歳群	94.6	2.7	2.7	186
	80-84歳群	88.3	6.4	5.3	94
	85歳以上	82.7	5.8	11.5	52
	合計	93.6	3.2	3.1	802
女性	65-69歳群	99.3	0.7	0.0	301
	70-74歳群	97.5	0.9	1.6	320
	75-79歳群	93.8	2.1	4.2	240
	80-84歳群	90.2	6.7	3.1	163
	85歳以上	74.8	10.9	14.3	119
	合計	93.8	3.0	3.2	1143

表3-10 性、年齢階級別にみたADLの状況(屋内移動) (%)

		自立	補助具	半介助	全介助	合計
男性	65-69歳群	98.3	1.2	0	0.4	242
	70-74歳群	95.6	1.8	0.9	1.8	228
	75-79歳群	97.3	1.1	0	1.6	186
	80-84歳群	87.4	8.4	1.1	3.2	95
	85歳以上	86.5	5.8	1.9	5.8	52
	合計	95.3	2.5	0.5	1.7	803
女性	65-69歳群	99.3	0.7	0	0.0	301
	70-74歳群	97.5	1.3	0	1.3	320
	75-79歳群	94.6	2.9	0.8	1.7	240
	80-84歳群	89.6	8.0	1.2	1.2	163
	85歳以上	81.5	6.7	2.5	9.2	119
	合計	94.6	3.0	0.6	1.8	1143

表3-11 性、年齢階級別にみたADLの状況(屋外歩行) (%)

		自立	補助具	半介助	全介助	合計
男性	65-69歳群	97.1	2.1	0.0	0.8	242
	70-74歳群	92.5	1.8	3.5	2.2	228
	75-79歳群	91.4	5.4	1.6	1.6	185
	80-84歳群	78.5	14.0	1.1	6.5	93
	85歳以上	69.2	15.4	5.8	9.6	52
	合計	90.5	5.0	1.9	2.6	800
女性	65-69歳群	98.0	0.7	1.3	0.0	301
	70-74歳群	95.0	3.8	0	1.3	320
	75-79歳群	90.0	5.9	1.7	2.5	239
	80-84歳群	74.7	21.6	1.2	2.5	162
	85歳以上	54.2	28.0	5.9	11.9	118
	合計	87.6	8.4	1.5	2.5	1140

表3-12 性、年齢階級別にみたADLの状況(東京都老人総合研究所活動能力指標) (%)

		バスや電車	日用品	自分で食事	請求書	貯金の出し入れ	年金等書類	新聞読む
男性	65-69歳群	95.0	96.7	86.7	96.3	94.2	94.6	96.3
	70-74歳群	87.1	89.4	79.3	90.3	88.9	90.7	92.5
	75-79歳群	88.6	88.6	76.0	88.6	85.4	86.5	88.2
	80-84歳群	66.3	75.0	60.0	78.1	76.0	75.0	88.5
	85歳以上	48.1	55.8	37.3	57.7	53.8	66.7	73.1
	合計	84.8	87.5	75.8	88.1	85.9	87.5	90.9
女性	65-69歳群	96.7	99.0	99.3	99.0	97.0	95.0	91.1
	70-74歳群	90.9	95.6	97.2	96.9	93.4	91.5	85.8
	75-79歳群	79.4	87.4	90.4	88.7	86.6	84.0	80.0
	80-84歳群	66.7	78.3	77.2	75.6	68.9	64.8	71.9
	85歳以上	31.4	49.2	48.7	56.8	42.4	44.1	63.2
	合計	80.4	87.5	88.5	88.6	84.2	82.2	81.7

		本や雑誌読む	健康に関心	家を訪ねる	相談	見舞う	自分から話しかける	合計
男性	65-69歳群	81.8	87.2	79.3	85.1	95.0	83.9	242
	70-74歳群	75.7	88.6	77.1	87.2	89.8	79.2	225
	75-79歳群	71.4	86.0	64.0	74.7	85.9	78.0	184
	80-84歳群	63.5	75.0	56.8	67.7	71.9	68.8	95
	85歳以上	51.9	84.6	25.0	46.2	47.1	58.8	52
	合計	73.5	85.7	69.0	78.7	85.6	77.8	798
女性	65-69歳群	78.5	92.7	86.8	87.1	97.0	86.1	301
	70-74歳群	72.3	91.8	81.2	85.5	93.4	90.0	317
	75-79歳群	66.3	91.2	73.8	73.2	82.5	82.1	238
	80-84歳群	60.0	84.4	63.1	69.2	72.3	78.8	162
	85歳以上	50.0	69.5	42.4	47.9	42.7	69.5	118
	合計	68.7	88.6	74.6	77.2	83.9	83.6	1136

表3-13 性、年齢階級別にみた東京都老人総合研究所活動能力指標の平均値

		(13点満点)					
		65-69歳群	70-74歳群	75-79歳群	80-84歳群	85歳以上	合計
男性	n	240	215	180	93	49	777
	平均値	11.7	11.3	10.6	9.3	7.1	10.8
	標準偏差	2.3	2.9	3.3	4.0	3.9	3.3
女性	n	300	311	234	155	114	1114
	平均値	12.1	11.6	10.7	9.4	6.6	10.7
	標準偏差	1.7	2.2	3.2	3.7	3.9	3.2

表3-14 現在の生活に全体としてどの程度満足しているか

		(%)						
		満足	まあ満足	どちらでもない	やや不満	不満	不明	合計
男性	65-69歳群	36.0	46.2	8.1	4.7	3.0	2.1	236
	70-74歳群	27.8	54.7	7.6	4.5	1.8	3.6	223
	75-79歳群	38.9	43.9	7.2	3.9	2.2	3.9	180
	80-84歳群	30.5	52.6	7.4	3.2	1.1	5.3	95
	85歳以上	46.9	40.8	6.1	2.0	0.0	4.1	49
	合計	34.4	48.5	7.5	4.1	2.0	3.4	783
女性	65-69歳群	40.4	49.7	4.0	3.6	1.3	1.0	302
	70-74歳群	39.0	48.9	5.1	2.9	1.0	3.2	313
	75-79歳群	42.5	41.7	5.0	5.0	1.7	4.2	240
	80-84歳群	42.1	40.3	6.3	5.7	1.3	4.4	159
	85歳以上	37.9	37.9	4.3	3.4	1.7	14.7	116
	合計	40.4	45.2	4.9	4.0	1.3	4.2	1130

表3-15 現在、あなたは幸福だと思いますか

		(%)					
		はい	まあまあ思 う	どちらでもない	思わない	不明	合計
男性	65-69歳群	46.8	40.0	6.8	4.7	1.7	235
	70-74歳群	40.6	43.8	6.3	4.5	4.9	224
	75-79歳群	51.1	32.2	6.1	5.6	5.0	180
	80-84歳群	42.1	34.7	11.6	5.3	6.3	95
	85歳以上	53.1	40.8	2.0	0.0	4.1	49
	合計	45.8	38.7	6.8	4.6	4.1	783
女性	65-69歳群	56.3	35.8	5.0	2.0	1.0	302
	70-74歳群	54.0	35.8	4.2	2.9	3.2	313
	75-79歳群	55.0	30.4	6.3	5.4	2.9	240
	80-84歳群	50.9	34.0	6.3	3.1	5.7	159
	85歳以上	50.0	20.7	7.8	5.2	16.4	116
	合計	54.0	32.8	5.5	3.5	4.2	1130

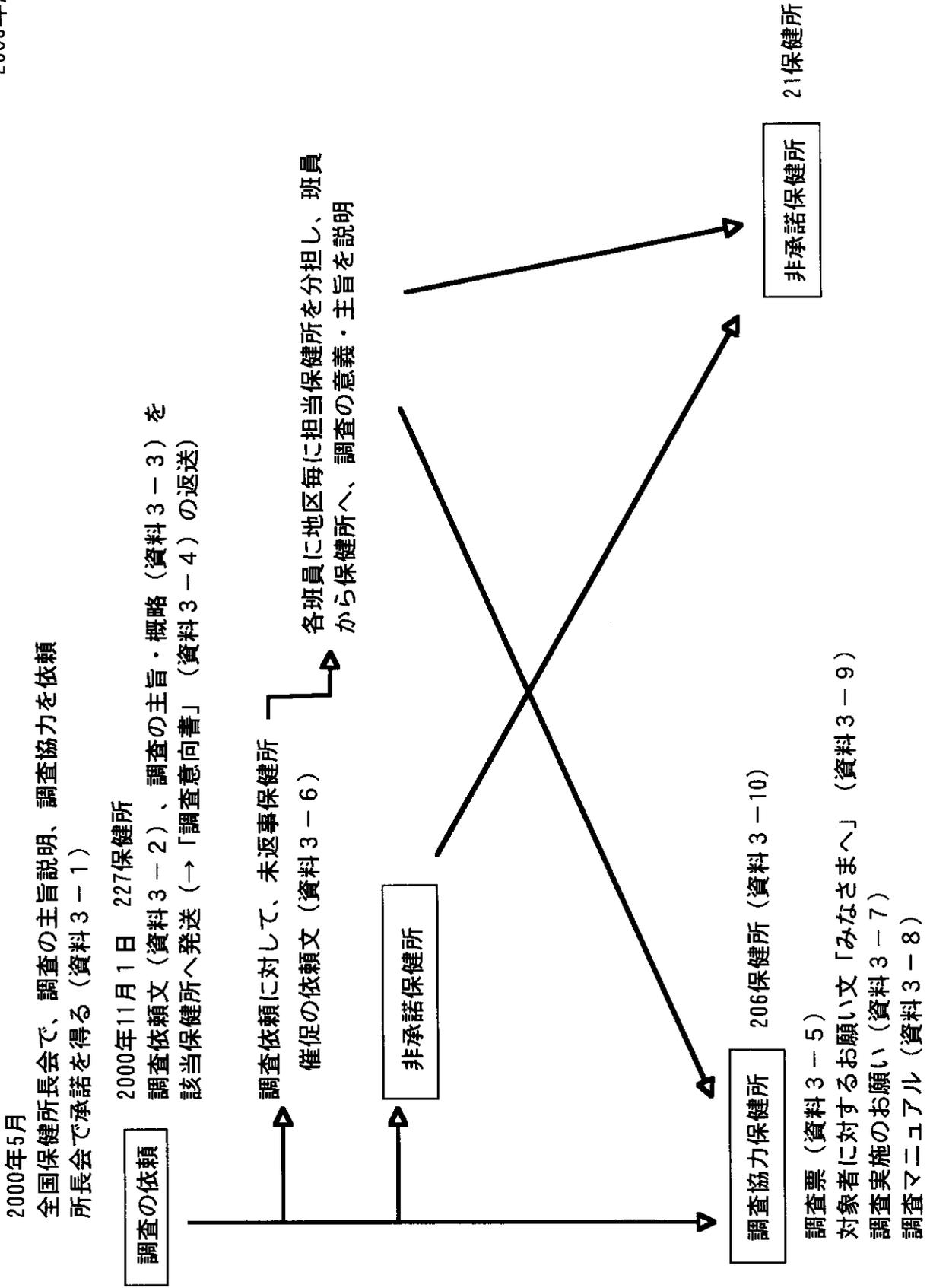
表3-16 「生きがい」や「生活のはり」「いきいきと生きているな」と感じることはありませんか

		(%)				
		ある	ときどき	ない	不明	合計
男性	65-69歳群	67.4	22.5	8.5	1.7	236
	70-74歳群	62.5	21.9	10.7	4.9	224
	75-79歳群	58.9	22.8	12.2	6.1	180
	80-84歳群	50.5	25.3	14.7	9.5	95
	85歳以上	46.9	32.7	10.2	10.2	49
	合計	60.7	23.3	10.8	5.1	784
女性	65-69歳群	68.9	26.5	3.3	1.3	302
	70-74歳群	65.8	24.6	5.1	4.5	313
	75-79歳群	61.3	18.3	15.8	4.6	240
	80-84歳群	51.6	30.2	7.5	10.7	159
	85歳以上	40.5	27.6	9.5	22.4	116
	合計	61.1	24.9	7.7	6.4	1130

表3-17 性、年齢階級別にみた既往歴の状況

						(%)
		脳卒中	心筋梗塞	大腿頸部骨折	その他の下肢骨折	合計
男性	65-69歳群	7.1	3.3	0.4	6.6	236
	70-74歳群	11.0	7.0	1.3	9.2	223
	75-79歳群	7.5	5.9	0.5	6.5	180
	80-84歳群	20.0	4.2	1.0	5.2	95
	85歳以上	9.6	5.8	1.9	5.8	49
	合計	10.0	5.2	0.9	7.1	783
女性	65-69歳群	4.0	2.7	0.7	5.0	302
	70-74歳群	4.1	2.2	2.2	5.0	313
	75-79歳群	8.8	7.5	2.5	7.9	240
	80-84歳群	11.0	4.3	3.1	8.6	159
	85歳以上	8.5	4.2	11.2	6.8	116
	合計	6.5	3.9	2.9	6.3	1130

図1 「ADL・生活の質」調査チャート



< 資料 1 >

資料 3-1

平成 12 年 5 月 20 日

各保健所長 殿

全国保健所長会
会長 川元 孝久

時下、貴職におかれては益々ご清祥のことと存じます。

さて、この度、平成 12 年度厚生科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）において、「国民の代表集団による高齢者の ADL、生活の質低下の予防に関するコホート研究」が実施されることとなりました。

この研究に関しましては、平成 7 年度に同対象地域において調査等が実施され、その時に貴保健所でご協力をいただいているところです。去る 5 月 16 日に開催されました「全国保健所長会理事会」で、主任研究者（滋賀医科大学福祉保健医学講座 上島弘嗣教授）から本年度の調査協力の依頼と説明があり、了承を致しました。つきましては、同研究の実施に関して、主任研究者より貴職所管の保健所に対して調査の協力依頼があった場合には、ご配慮の上ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成 12 年 11 月 1 日

先生

厚生科学研究費補助金「国民の代表集団による高齢者の
ADL、生活の質低下の予防に関するコホート研究」
主任研究者 上島 弘嗣

1990 年度循環器疾患基礎調査追跡調査実施のおねがい

前略

この度、昨年度に引き続き、平成 12 年厚生科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）の助成を受け、「国民の代表集団による高齢者の ADL、生活の質低下の予防に関するコホート研究（NIPPON DATA）」を行うことになりました。

そこで、本年度も保健所の先生方には是非 ADL・生活の質調査の実施をお願いしたいと考えております。なお、この調査は、厚生省が行う循環器疾患基礎調査の追跡事業であり、去る 5 月 16 日に開催されました「全国保健所長会理事会」で調査協力の承諾（資料 1）をいただきました。

昨年度の 1980 年循環器疾患基礎調査受診者の日常生活動作能力（ADL）と生活の質調査に関する調査は、全国 202 保健所（91%）の協力を得て無事終了することができました。

図にお示ししましたように、平成 2 年（1990 年）循環器疾患基礎調査受診者のうち、平成 7 年（1995 年；5 年後）の追跡において生存が確認された方を対象に、今年度 10 年後の追跡を実施するものです。今年度の調査は、2000 年 9 月現在 65 歳以上の生存者に対して、ADL・生活の質の調査を実施する計画となっております。研究の主旨を資料 2 に、調査の概略、貴保健所の対象地区、人数は資料 3 にお示しします。

この調査の実施のご意向をお聞かせ願いたいと思いますので、同封いたしました返信用ハガキにご回答をいただいた上、11 月 25 日（金）までにご返送いただきますようお願い申し上げます。

ご意見、ご質問等ございましたら、以下の事務局へご連絡下さい。

草々

【問い合わせ先】

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
滋賀医科大学福祉保健医学講座
教授 上島 弘嗣
（事務局；岡村 智教・早川 岳人
門脇 崇・大原 操）
電話 077-548-2191 FAX 077-543-9732

< 資料 2 >

「国民の代表集団による高齢者の ADL、生活の質低下の 予防に関するコホート研究」主旨

1. この研究の成果は『健康日本 21』の基礎資料に用いられています

1990 年度の国民栄養調査・循環器疾患基礎調査の対象者を母集団としたコホート研究であり、90 パーセントを超える追跡率となりました。

この成果は、厚生省の『健康日本 21』を策定する際の基礎資料として用いられています。また、“NIPPON DATA (National Integrated Project for Prospective Observation of Non-communicable Disease And its Trends in the Aged)” と名付けられ、世界の長寿国である日本の調査として国際的にも注目されている疫学調査です。今後の国民衛生の軸となる調査であり、保健所の機能が存分に発揮されて成り立つ研究です。

2. この研究は合法的なものです

追跡調査は、各地方自治体の発行する住民票を用いて調べています。これは住民基本台帳法に基づいて調査されたものであり、法律に触れるものではありません。また国民栄養調査・循環器疾患基礎調査は保健所が主体となって実施されるものであり、その追跡調査である ADL 調査を保健所が実施して頂くことは、法的に問題はありません。対象者のプライバシーは完全に守られ、この調査により対象者に損失を生じることはありません。この調査は、滋賀医科大学の倫理委員会でも承諾を受けています。また、保健所のご協力の下で ADL 調査を行う際、対象者が調査に拒否する権利は保証されています。この調査は該当保健所の協力があってこそ、成り立つ研究です。

本研究の意義について『厚生指針』に掲載いたしましたので、参考資料として同封させていただきます。

この事業の意義、重要性につきご理解頂いた上で、是非、ご協力頂きたいと存じます

< 資料 3 >

資料 3-3

ADL、生活の質調査の概略

1. 「ADL、生活の質」調査の目的

- ・高齢化を迎えるにあたり、65 歳以上の地域に生活している方の ADL、生活の質の現状を明らかにする
- ・元気で長生きできる要因を明らかにする

2. 調査対象者と方法

1990 年循環器疾患基礎調査受診者のうち、2000 年 9 月現在 65 歳以上の生きておられる方約 2,500 人

- ・循環器疾患基礎調査対象者は、全国から無作為に抽出した 300 地区です。
- ・保健所毎に換算すると、一保健所 2 人から 20 人程度です。(15 人程度)
- ・調査対象者は、ほぼ特定の調査地区内に居住されています。
- ・調査項目； A4 一枚の調査票
基本的 ADL6 項目（食事、排泄、着替え、入浴、屋内移動、屋外歩行）
老研式活動能力指標 13 項目（東京都老人総合研究所開発）
生活の質 3 項目（生きがい感、幸福感、満足感）

3. 調査期間

2001 年 1 月中旬までを予定しています。

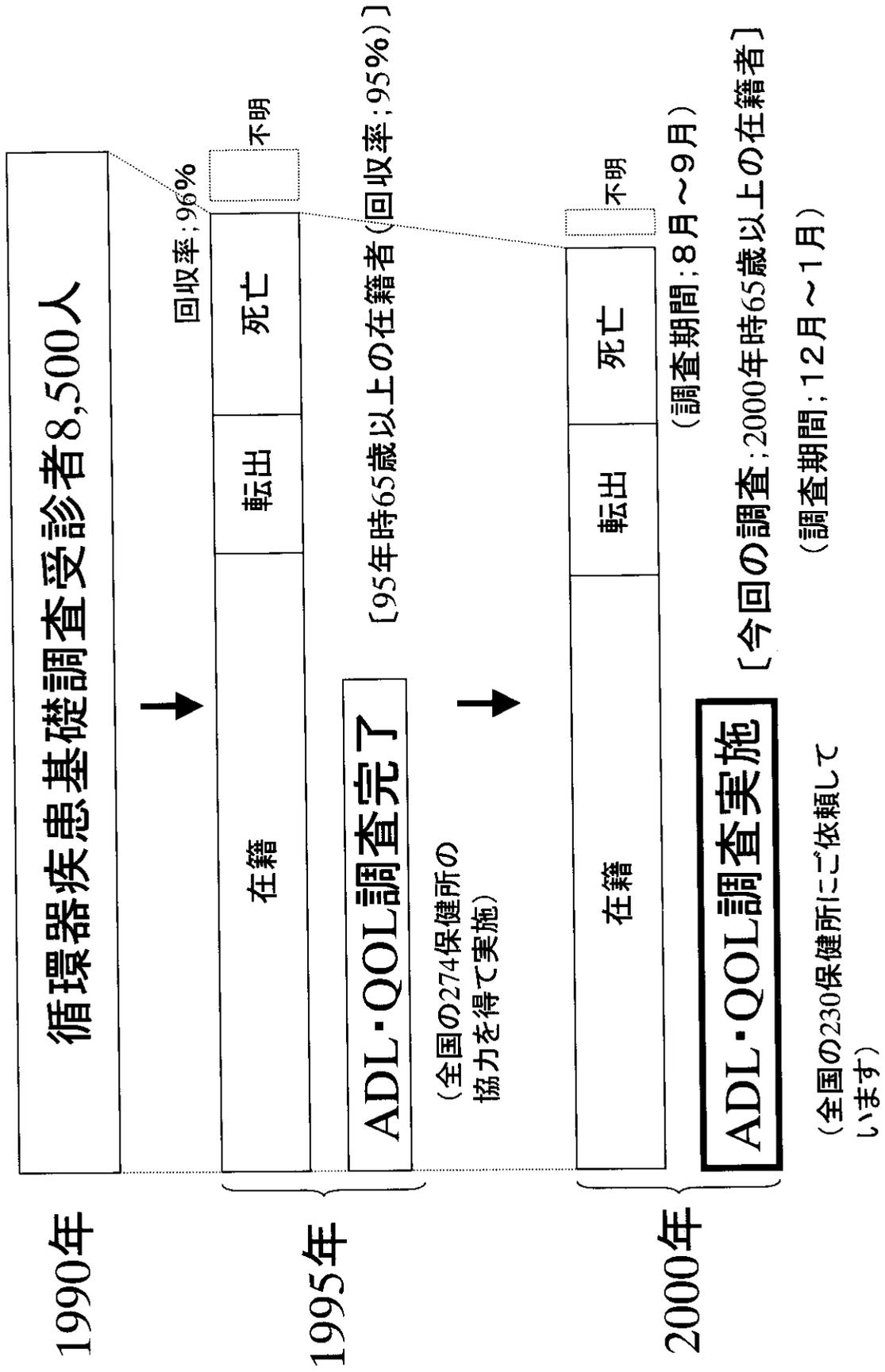
4. 調査終了後の結果の公表

この「ADL・生活の質」調査に先立ち、対象者の生死の確認を 8 月～9 月にかけて実施しています。その研究も含めて、報告書を公表いたします。

ご意見、ご質問ございましたら、事務局へご連絡下さい。

保健所名20	H12元住所	H12元住所
竜ヶ崎	龍ヶ崎市	竜安寺衣笠

図 調査の流れ



意向書

平成 12 年度厚生科学研究費補助金
「国民の代表集団による高齢者の ADL、生活の質低下
の予防に関するコホート研究 (NIPPON DATA)」
主任研究者 上島 弘嗣 殿
(滋賀医科大学 福祉保健医学講座教授)

私は、上記の事業に関する調査を、

- ・ 承諾します。
- ・ 受けかねます。

(どちらかに○をしてください。)

平成 年 月 日

氏名 _____

所属 _____

住所 _____

なお、調査事務を担当される方がおられる場合には、
その方のお名前をお知らせいただければ幸いです。

担当者名 _____

TEL _____

FAX _____

資料 3-5

ADL・生活の質調査票

ID

1990年循環器疾患基礎調査個人情報		
調査対象者氏名		平成12年年齢 歳
2000年 住所	調査票見本	BIRTHDAY

以下の質問に回答願います(数字に○をつけてください)

ADL調査・可否	1.可 2.拒否 3.不明	調査年月日	平成 年 月 日
調査形態	1.訪問調査 2.電話調査 3.その他()		
家族構成	1.独居 2.高齢者夫婦 3.二世帯同居 4.三世帯同居 5.その他		
回答者	1.本人 2.その他()		

1.食事	1.自立 2.半介助 3.全介助	13.新聞を読んでいますか	1.はい 2.いいえ
2.排泄	1.自立 2.半介助 3.全介助	14.本や雑誌を読んでいますか	1.はい 2.いいえ
3.着替え	1.自立 2.半介助 3.全介助	15.健康についての記事や番組に関心がありますか	1.はい 2.いいえ
4.入浴	1.自立 2.半介助 3.全介助	16.友達の家を訪ねることがありますか	1.はい 2.いいえ
5.屋内移動	1.自立 2.補助具 3.半介助 4.全介助	17.家族や友達の相談にのることがありますか	1.はい 2.いいえ
6.屋外歩行	1.自立 2.補助具 3.半介助 4.全介助	18.病人を見舞うことができますか	1.はい 2.いいえ
7.バスや電車を使って一人で外出できますか	1.はい 2.いいえ	19.若い人に自分から話しかけることがありますか	1.はい 2.いいえ
8.日用品の買い物ができますか	1.はい 2.いいえ	20.現在の生活に全体としてどの程度満足していますか	1.満足 2.まあ満足 3.どちらでもない 4.やや不満 5.不満 6.不明
9.自分で食事の用意ができますか	1.はい 2.いいえ	21.現在、あなたは幸福だと思いますか。	1.はい 2.まあまあ思う 3.どちらでもない 4.思わない 5.不明
10.請求書の支払いができますか	1.はい 2.いいえ	22.「生きがい」や「生活のはり」「いきいきと生きているな」と感じる時がありますか	1.ある 2.ときどき 3.ない 4.不明
11.銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか	1.はい 2.いいえ		
12.年金などの書類が書けますか	1.はい 2.いいえ		

23.既往歴	1.有り(昭和・平成 年 月) 2.なし	大腿頸部骨折	1.有り(昭和・平成 年 月) 2.なし
脳卒中既往	1.有り(昭和・平成 年 月) 2.なし	その他の下肢骨折	1.有り(昭和・平成 年 月) 2.なし
心筋梗塞既往	1.有り(昭和・平成 年 月) 2.なし	(部位:)	

備考欄 調査不可理由等